まちづくり懇談会内容

日　時：　令和 8 年 10 月 14 日（水）18:30～20:00
場　所：　農村環境改善センター
出席者：　　9 人

1．開　会
2．町長挨拶
3．懇　談
　（1）栗山町第 7 次総合計画後期実施計画の素案の概要について　資料①、資料②
　（2）関係機関・団体からの事前質問に対する回答　資料③
　（3）自由懇談
4．その他
　栗山町公式 LINE の運用開始について　資料④
5．閉　会

【自由懇談・そのほかの質疑など】

■岩見沢長沼線の廃止に伴う対策へのお礼

町　　民　　10 月 1 日からの町営バスの対策についてお世話になったことに感謝します。

■角田小学校の活用と地域の振興策について

町　　民　　角田小学校の跡地利用は地域住民と検討するとのことですが、避難所に指定されているので非常に心配です。民間に売ったり貸し付けたりすると避難所はどうなってしまうのか。また、高齢化が進んでいて人口が減っているので、角田地区にある町職員住宅や教職員住宅を解体して宅地にしてはどうかと思います。対話と協議をして「角田はどういうふうに」、「継立はどういうふうに」と提示してもらいたいです。

町　　長　　角田小学校の活用について私どものスタンスは、こういう形でどうだというような提示の仕方より、対話と協議を大切にしながら、いろいろなご意見を出していただいて進んでいければというふうに思っています。避難所の関係については、今の段階では角田小学校と農村環境改善センターの両施設がなければ、収容が難しい状況がありますので、維持しながら振興策も含めて協議させていただきたいと思います。

■スクールバスの運行計画等について

町　　民　　来年 4 月から学校が統合するとスクールバスが走ります。もう半年切っている状況なので、すでにスクールバスの運行計画や、バス停を設置する場所などの計画ができているのかなと思っています。高齢化が進んでいることもあり交通安全指導員を配置することが難しくなっているため、運行計画と乗車計画を早めに出していただきたいです。

教 育 長　　スクールバス運営委員会が協議を進めており、その結果を待たなければなりません。現役世代との話し合いを十分にしながら、会長さんに提示していきたいというふうに考えています。運営委員会の所管なので、いつとは言えませんがいただいたご意見を伝えたいと思います。

■第 5 工業団地への企業進出について

町　　民　角田に企業が進出するということで 8 月に説明会が開かれ、土地の売買も完了していたと聞いていましたが、後日、回覧で第 2 工業団地に変更になったと聞きました。議会で決定したあとに中途半端に変更となると大変だったと思うのでもう少し把握してから議会で決定し誘致すれば良かったと思います。

商工観光課長　法的な問題はありませんが、危険物の倉庫ということで地域の方からクレームをいただきました。先方の企業は、地域との共存を望まれており、工事を始める前からこのような状況になっては難しいということで、町内の違う場所の工業団地へ変更することになりました。慎重に丁寧に対応していきたいと考えています。

■町ホームページに掲載されていた防災メールの情報漏洩の可能性について

町　　民　ホームページに掲載されていたが、ホームページを診られない方もいると思うのでその件について教えてください。

総務課長　全国規模で起きている情報漏洩で、町が委託している会社がサイバー攻撃を受けました。そちらから情報漏洩をした恐れがあるという通知が昨日ありました。委託業者がすぐにアクセスを遮断する対応をとりましたが、被害があったかは調査中で、細かい情報は我々の方に入っていない状況です。日本全国でユーザーが多い業者で大きなニュースになっていますが、栗山町がその中のひとつになってしまったものであります。我々もその業者の方からの情報提供を今待っているような状況で、皆様にご心配をおかけし大変申し訳ありません。

■デジタル化が進むことで紙の周知物は無くなってしまうのか

町　　民　スマホも持っておらず町の広報紙や回覧板から情報を得ています。便利になるのはいいことですが、こちらの方が主となって、紙の広報など全戸配布されるべき周知物がなくなってしまうようなことはないでしょうか。

総務課長　LINE などのサービスができたからといって広報紙をなくすようなことは今のところ考えておりませんので、ご安心いただきたいと思います。チャンネルが一つ増えたというふうに思ってください。